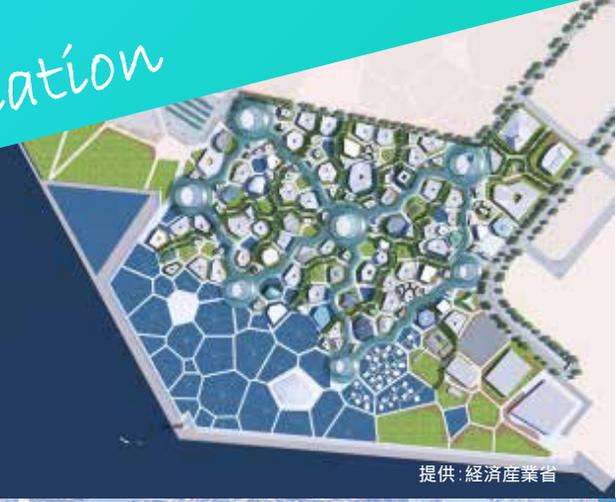


Yumeshima New Industry Development Association



提供：経済産業省

夢洲新産業創造研究会 「検討内容例（万博・IR・夢洲まちづくり）」



提供：経済産業省



提供：(一社)関西経済同友会



提供：経済産業省



Yumeshima New Industry Development Association

当研究会のゴール

夢洲モデルの新産業創出（万博・IR・夢洲まちづくり）
 夢洲が世界初のイノベーションリゾートシティとして持続可能に成長するために

部会（研究会）の活動テーマと内容

4つの関西の産業振興重点領域を各部会が担当し、領域に基づいたテーマ設定と提言、ビジネスモデルを討議しています。

第1部会 エンターテイメント・スポーツ・アクティビティ領域

- ・夢洲を関西発のエンターテイメント発信基地に
- ・日本の伝統芸能やクールジャパンをバーチャルに再現
- ・スポーツ/アクティビティと先端技術の融合
- ・e-SportsとReal Sportsの融合
- ・高地トレーニングができる環境を夢洲に

第2部会 ホスピタリティ・観光・Well-Being領域

- ・関西だから提供できる究極のおもてなし
- ・夢洲が産学公共創のイノベーション拠点として機能するには
- ・Well-Beingを起点とした事業展開とは
- ・万博のレガシーを受け継ぐために...
- ・海に囲まれた立地を最大限に活かすには

第3部会 都市魅力創造・MICE領域

- ・国際観光拠点「夢洲」と大阪・関西の都市間連携
- ・夢洲ならではの“イノベーションプラットフォーム”づくり
- ・新産業創出に必要な、ハード・ソフトのあり方とは
- ・日本・アジアを代表するMICE施設と誘致体制構築
- ・夢洲の域内・域外を繋ぐ交通ネットワークづくり

第4部会 万博(Society5.0・SDGsなど)領域

- ・万博をフィールドとしたSDGsのビジネス化と社会実験
- ・万博を触媒とした関西の強みとITの融合への挑戦
- ・「いのち輝く未来社会」に相応しいライフサイエンス産業のあり方
- ・令和時代のリーディング産業・新技術の創出/関西経済へ貢献
- ・産官学の連携強化とレガシー形成



< 第1部会 エンターテインメント・スポーツ・アクティビティ領域 >

【新産業・導入機能イメージ】

(エンターテインメント・笑い・祭り分野)
日本発、関西発のものを中心に

- ■ □ ・アニメ、コスプレ、フィギュア、サブカルチャー、オタクなど
- ■ □ ・全国各地の祭りをバーチャル体験
現地へ送客し、リアルな体験へ
- ■ □ ・日本伝統芸能、日本古来の物語を最新技術で再現
(例：大阪城の「サクヤルミナ」、メディアアートでの表現など)
- □ ■ ・「世界芸人道場」構想、夢洲をエンタメの発信基地、実験場に

(スポーツ・健康分野)
最新の技術を融合した Society5.0実装社会の実現

- □ ■ ・自然(緑と海)とITの融合
 - □ □ ・e-SportsとReal Sportsの融合
 - □ ■ ・舞洲(リアルスポーツ)と夢洲(バーチャルスポーツ)の連携
 - □ ■ ・夢洲の自然を楽しみながら、バーチャルな映像の中で、ウォーキング、
ランニング、トレイルランニングできる環境に
 - □ ■ ・高地トレーニングができる環境を夢洲に
- JISS-WEST(国立スポーツ科学センター西日本拠点)構想と連動

【夢洲開発での課題】

1. IR施設の「ハード」と「コンテンツ・ソフト」が重要
 - ・海外の良いものを取り入れる
 - ・日本発・関西発のもの、独自のモノ・コトを打ち出す必要性
 - それらを多様な最新技術で支援
2. 富裕層のインバウンド客のニーズのみならず、日本・関西在住の生活者・市民の視点も大切に
 - ・キーワードは「共感・参加・祭り」 多様な顧客との目線合わせ
3. 大阪・関西万博との連動性：健康・Well-Beingの先端都市
 - ・万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を恒久的に体现する
 - まちづくりの視点でIRをとらえる
 - ・夢洲単独でなく、舞洲やうめきた、隣接府県とも連動し、関西・大阪を広くとらえたグランドデザインの策定
4. 持続可能なまちづくりを
 - ・参画する企業が、ビジネスとして収益を得られることが重要
 - ・将来に向けての実証実験の場であると共に、経済的持続性も必要
5. 教育・人材育成
 - ・50年、100年と続けていくための基盤作り

凡例：アイデアの適用イメージ

IR 万博 夢洲まちづくり



【関西の強みを活かす夢洲ゲートウェイの4つのテーマ】

(アイデア・研究テーマ) キャッシュレス・ポイント

大阪・関西共通ポイント導入で夢洲IRと双方向の送客実現

- ・IR施設や大阪府内観光施設等の利用にインセンティブを付与し、大阪流入顧客を誘客
- ・公共×IR事業者×民間企業で運営組織を組成
- ・購買データの利活用

(アイデア・研究テーマ) イノベーション

産学公共創のイノベーション拠点として夢洲が機能する

- ・ライフサイエンス、ものづくり産業の集積
- ■ ・万博を機にスタートアップ、アカデミア活性化
- ・夢洲IRがイノベーションの拠点となりインキュベーション機能を担う

施設内で取得される情報から、健康管理・新サービスを創出

- ■ ■ ・Well-Being産業との共創イノベーションサイクルを担うプラットフォーム（ICT基盤）を構築
- ■ ■ ・一意のID×生体情報により安心・安全なデータ管理と新たなサービス創出を実現

(アイデア・研究テーマ) ショーケース

Well-Beingを起点とした夢洲IR施設内での事業展開

- ■ ■ ・産学公共創による生活の質（QOL）を高める最先端技術体験の場
- ■ ■ ・見える化の最新技術を導入して、実感いただくWell-Being実証フィールド

(アイデア・研究テーマ) ロケーション

新たな経済活動の拠点形成

- ■ ■ ・トライアル、実証の場
- ■ ■ ・国家戦略特区制度の活用（各種開発規制緩和、ビジネス環境整備）

夢洲と周辺地域とのアクセス、2・3期を見据えた交通インフラ

- ・海に囲まれた立地を活かした海上輸送航路の整備
- ・都市部とのアクセシビリティの向上
- ■ ■ ・第2期・第3期開発を見据えた島内輸送手段

凡例：アイデアの適用イメージ

IR 万博 夢洲まちづくり



< 第3部会 都市魅力創造・MICE領域 >

【新産業を創造するために必要なハード・ソフト(案)】

検討の方向性

“夢洲型イノベーションプラットフォーム”の構想

ハードのデザイン要素(例)

ソフトのデザイン要素(例)

デザイン領域

- 【第1部会】**
(事業に必要な外部空間)
 ■ ■ ■ ・広場空間、公園空間、オープンスペース
 ■ ■ ■ ・ランニングレーン
- (事業に必要な施設)**
 ■ ■ ■ ・展示場・会議場を備えたアジア有数のMICE複合拠点
 ■ ■ ■ ・シアター
 ■ ■ ■ ・アリーナ
 ■ ■ ■ ・eSports施設
 ■ ■ ■ ・トレーニング施設
- 【第2部会】**
(事業に必要な外部空間)
 ■ ■ ■ ・ウォーキング、ジョギングコース
- (事業に必要な施設)**
 ■ ■ ■ ・ホテル客室
 ■ ■ ■ ・検診センター
 ■ ■ ■ ・レストラン、フードコート
 ■ ■ ■ ・シアター
 ■ ■ ■ ・フィットネス
- (その他)**
 ■ ■ ■ ・海上輸送ピークル
 ■ ■ ■ ・荷物運搬モビリティ
 ■ ■ ■ ・次世代エネルギー活用島内モビリティ
 ■ ■ ■ ・観光案内ロボット

- 【第1部会】**
(事業に必要な仕組み)
 ■ ■ ■ ・VR・AR等を活用可能な高速通信網、データプラットフォーム、その活用を促す組織
 ■ ■ ■ ・舞洲を拠点とするプロスポーツチームとの連携
 ■ ■ ■ ・ナショナルセンター(国立スポーツ科学センター)との連携検討
 ■ ■ ■ ・来訪者(インバウンド観光客、地域住民)が参加できる仕組みづくり
 ■ ■ ■ ・夢洲に留まらない関西・大阪を広くとらえた連携網
 ■ ■ ■ ・持続可能な基盤づくり(人材育成・経済持続性)
 ■ ■ ■ ・先端的な関連産業集積を持つ都市や組織との連携
 ■ ■ ■ ・官民によるMICE誘致・創出組織
- 【第2部会】**
 ■ ■ ■ ・キャッシュレス・ポイント活用のための公共×IR事業者×民間企業が参画した運営組織
 ■ ■ ■ ・ライフサイエンス、ものづくり産業等のインキュベータ
 ■ ■ ■ ・安心安全なデータ管理を行う情報銀行サービスセンター
 ■ ■ ■ ・実証フィールド管理・運営のための組織
 ■ ■ ■ ・海上輸送における輸送先・観光地との連携
 ■ ■ ■ ・都心部ターミナル駅や観光施設との連携
 ■ ■ ■ ・オンデマンド輸送のためのシステム
 ■ ■ ■ ・ロボット運用・管理システム
 ■ ■ ■ ・企業マッチングサービス

凡例：アイデアの適用イメージ

IR 万博 夢洲まちづくり



本ページ提供: 経済産業省

1. 目指すべき万博の姿

(1) わが国や世界が抱える課題の解決

2025年問題: 団塊の世代が後期高齢者入り

2025年の崖: 日本のIT産業が様々な課題に直面

SDGsのゴール: 2030年

Society5.0: 経済成長と社会的課題の解決

(2) 地方創生と東京一極集中の是正

平成は東京一極集中の時代

令和は地方創生により東京一極集中を是正

(3) 効果的な産官学連携の推進

基礎研究と応用研究の両面にプラス効果を発揮する

産官学のエコシステムを構築

(4) 関西経済の復活

関西経済の地盤沈下を止め、再び存在感の発揮を目指す

豊富な産業基盤・学術基盤を活かしたイノベーション都市

IR等も活用したグローバルなMICE都市

世界有数の観光資源を活用した先進的な観光都市

関西のイメージ戦略・ブランド戦略の推進

(例) 歴史・活気・斬新・人情と温かさ・洗練などをうまく融合

世界中の有望な人材に活躍の場を提供

・ベンチャー企業、中小企業、元気な高齢者、若手など、
年齢・性別・立場を超えて

アジア屈指の都市圏に相応しい万博

・東京を過度に意識しないでグローバル都市圏を目指す

・既に世界は都市圏の時代。関西もグローバル都市圏
競争に勝てるような地域を目指して万博を推進

2. 検討すべき対応策

(1) SDGsのビジネス化

CSR的な存在から、持続可能なビジネスへ脱却

Society5.0の実現・実装の場に

SDGsを考慮した万博の調達: 日本からスタンダードの発信

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

(2) 夢洲を世界最高水準のスマートシティへ

スマートシティ輸出ビジネスを展望

キャッシュレス、MaaS、5G等の実装

(3) 万博をきっかけとした新商品・新サービスの提供

関西の大学が持つ高度なナレッジを商品化

(4) 関西の強みとITの融合

フードテック、メドテック、アグリテック、観光テックなど

(5) 関西らしい楽しく明るい万博

エンタメと真面目さの融合

(6) 国際的なMICE都市・高級リゾートとしてのイメージの醸成

G20サミットと万博2回の実績を世界にアピール

3. 最後に~5年という短い時間、人手不足といった供給制約の中で成功するために

関西ではIRやうめきた2期など多くのプロジェクトが進行中。これらと万博のタイムスケジュールを
遅延させず、同時にレガシーも形成するためには以下の対応が重要

(1) 幅広い層の人材登用(世界中から・性別を超えて)

(2) 特区の積極的活用

(3) 関西全体のみならず国との協力関係の構築